

1 主題名 責任ある行動 A(1) 自主、自立、自由と責任

2 教材名 「許せないよね」

出典 中学道徳 2 (光村図書)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする指導内容

内容項目 A(1) に「自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ」とある。わたしたちが人間として誇りをもって生きていくためには、自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつことが求められる。自己の気高さに気付かせ、何が正しく、何が誤りであるかを自ら判断して望ましい行動をとれるようにすることが大切である。

中学2年生となると、自我に目覚め、自主的に考え、行動することができるようになる。しかしその反面、あらゆる誘惑に負けてしまったり、周囲の思惑を気にして他人の言動に左右されてしまったりすることも少なくない。また、自己中心的な判断をしたり、責任を他人に転嫁したりして、自分自身の行為が自分や他人にどのような結果をもたらすかということを深く考えることができないときもある。

このことから、物事に対して自律的に実行し、その結果に責任をもとうとする判断力が必要であると考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態と教師の願い

アンケート調査

- | | | |
|---|--------------------------------|---------------------|
| 1 | 清掃や係活動の際に、自分は責任ある行動がとれていると思う。 | |
| A | そう思う(6名) | B どちらかと言えばそう思う(17名) |
| C | どちらかと言えばそう思わない(5名) | D そう思わない(1名) |
| 2 | 中学校に入学してから現在まで自分は責任感がついてきたと思う。 | |
| A | そう思う(2名) | B どちらかと言えばそう思う(20名) |
| C | どちらかと言えばそう思わない(5名) | D そう思わない(2名) |
| 3 | 道徳の授業ではねらいに対してよく考えることができています。 | |
| A | そう思う(7名) | B どちらかと言えばそう思う(18名) |
| C | どちらかと言えばそう思わない(4名) | D そう思わない(0名) |

(6月7日実施 本学級生徒30名 調査生徒人数は29名)

アンケートの結果から、本学級の生徒は道徳の授業に意欲的に取り組んでいることがわかる。また、1年間の中学校生活を通して、自分のやるべきことに責任をもち、取り組む力が身についてきたと感じている生徒が多いことがわかる。しかし、学級会等で決めごとをする際に、無責任な発言をしたり、その発言を助長したりする場面が見られる。また、清掃の際には、決められた役割を果たさずに、友人と一緒にしゃべりをしていたり、走り回って注意されていたりする様子も見られる。

これらのことから、他人の言動に左右されず、正しい判断をし、適切な行動をとる大切さを指導する必要があると考える。また、現代の中学生の喫緊の課題である SNS を介した対人トラブルを避けるためにも、自ら責任ある言動をとることの大切さを学ばせ、情報に振り回されない判断力を育むようにしたい。

(3) 教材について

本教材は、主人公の「私」の友達である、千佳のお気に入りのボールペンがなくなったことを巡り、インターネット上の交流サイトに「私」のクラスメートの沙弥が盗んだという匿名の書き込みを見て、ついそれに「私」が書き込みに対し、深く考えずに同調し、メールをしてしまったことが大きなトラブルに発展する物語である。自分の言動に責任をもち、自分で判断することの大切さについて考えるのにふさわしい教材といえる。この物語を読んで、話し合う活動を通して、自分の行動に責任をもつことの大切さについて考えさせたい。また、情報モラル教育にも転用できる教材でもあるため、生徒の生活に根付いているであろう SNS について触れることで、顔が見えない相手とのコミュニケーションについても言及していきたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

自分の行動に責任をもつことの大切さについて考え、物事を自律的に実行して、その結果に責任をもとうとする判断力を育てる。

(2) 準備・資料

ワークシート、ホワイトボード、掲示物、タイマー、教科書、ポートフォリオノート

(3) 本時の展開 (○補助発問 ◎中心発問)

主な活動と発問	予想される生徒の反応	生徒への援助・支援 評価
1 アンケートの結果について振り返る。	・中学校に入学してから現在まで自分は責任感がついてきたと思う生徒が多い。	・アンケートの結果を掲示するとともに、今までの生活を振り返ることで、生徒に本時のねらいに関わる問題意識をもたせるようにする。
2 本時のねらいを確認する。 責任ある行動とは、どのようなものだろう。		・見通しをもって活動できるように、本時のねらいについて確認をする。
3 責任をもつことのイメージを広げる。 ○「責任をもつ」と聞いて、どんなことをイメージしますか。	・委員長や部活のキャプテンのような大事な役割。 ・働いてお金を稼いで、家族を養う。 ・辛くてもやり抜いて達成する。	・具体的に考えられるように、日常生活と結びつけて問いかけるようにする。
4 本文を読む。	・本時のねらいに関わりがありそうな箇所に線を引く。	・生徒の集中力を持続させるために、教師が範読する。
5 教材について話し合う。 (1) スマホを見つめている場面の主人公の気持ちを考える。 ○主人公の「私」は、どのようなことを考えてスマホを見つめていると思いますか。 (2) 主人公のこの後の行動について考える。 ○主人公の「私」は、この後どんな行動をしますか。またそれはなぜでしょう。 (3) この出来事からどのようなことを学んだかを考える。 ◎この出来事からはどんなことを学びましたか。「私」と似たような経験がないか話し合ってみましょう。 ○責任ある行動を実現するのに必要なものは何だろう。	・私のことも何か書かれているんじゃないかと心配する。 ・盗んだのは本当に沙弥なのかな。 ・沙弥の味方になりたいけど、そうすると千佳に嫌われてしまうのではないか。 ・自分の真意を2人に話す。 ・それぞれの言い分を話し合えるようにする。 ・友達とチャットをしていて、言い争いになってしまった。 ・よく調べてみたらうその情報を広めていた。 ・自分で決めてやり通す気持ち。 ・「まあ、いいや。」と流されない気持ち。	・まず個人で思い思いにつぶやかせ、次いでペアで意見交換をする。ペアでの意見交換の時間を設けることで、1人では考えが浮かばなかった生徒もイメージがもてるようにする。 ・引き続き自我関与させながら、最後の場面以後の振る舞いを想像する時間を設ける。その際に、解決策を決めることが着地点ではないことに留意させ、責任ある行動について着目して考えるよう説明をする。 ・できるだけ多くの日常生活を想像させるため、生徒の生活に根付いているであろう SNS 等の画像を提示する。 ・学級全体で意見を共有することができるよう、グループで意見を出し合い、ホワイトボードに意見を記入させたものを提示する。
6 本時の学習を振り返る。	・ポートフォリオノートに学んだことを書き込む。	(評) 自分の行動に責任をもつことの大切さについて考えることができたか。 (観察・ワークシート)

月 日	9 許せないよね	2 年 組 番
		名前

考えよう

1 主人公の「私」は、どのようなことを考えてスマホを見つめていると思いますか。



2 主人公の「私」はこの後どんな行動をすると思いますか。

--

3 この物語を読んでどんなことを学びましたか。また、「私」と似たような経験はありますか。

--



4 責任ある行動を実現するのに必要なものは何だろう。

--